

一宮西部地区かわまちづくり 協議会

～木曽川と地域をつなぐ水辺づくり～
令和6年3月19日

目 次

1. かわまちづくり支援制度の概要	1
2. 一宮西部地区かわまちづくりの背景と目的	11
3. 木曽川沿川の利活用の現状	22
4. かわまちづくりの関連計画	25
5. 木曽川沿川の利活用方針（案）	31
6. かわまちづくりの対象範囲	35
7. かわまちづくりの利活用イメージ	38
8. 今後の予定	49

1. かわまちづくり支援制度の概要

1

「かわまちづくり」とは

～河川空間とまち空間が融合した、良好な空間形成を目指す取り組み～

- ・ 地域の景観、歴史、文化及び観光基盤などの「資源」や地域の創意に富んだ「知恵」を活かし、市町村、民間事業者及び地元住民と河川管理者の連携のもと、地域の「顔」、そして「誇り」となるような空間形成を目指す。

推進主体

- ① 市町村
- ② 市町村及び民間事業者
- ③ 市町村を構成員に含む法人格のない協議会



河川管理者が行う支援

- ・ ソフト施策: 必要となる調査・検討、情報提供、利用区域の指定等
- ・ ハード施策: かわまちづくりと一体となった河川管理施設の整備

かわまちづくり計画の登録

- ・推進主体と河川管理者と共同で「かわまちづくり計画」を作成し、国に登録申請
⇒ 国が審査し、登録

審査項目(実施要領)

- ・ **実施の効果**
実施の効果を評価するため、地域活性化に資する評価指標と目標値を設定
フォローアップの手段も検討
- ・ 市町村、民間事業者及び地域住民の**熱意の高さ**
検討会議や社会実験を実施
人材の確保など「地域の熱意の高さ」を示す
- ・ **実現可能性**(関係者の役割分担と実施体制の確保等)
かわまちづくりの実施段階の体制を構築
施設の維持管理など関係者の役割分担を明確化

○登録に当たっては、上記を国に十分説明する必要がある

申請のポイント

- ・ “**まち**”と“**かわ**”のつながりによる賑わいの創出
(まちづくりと**一体**となった**河川整備**)
- ・ 自治体のまちづくり計画における**河川利用の位置づけ**
(計画で実現しようとしている河川利用がまちづくり計画から読み取れるか)
- ・ 計画段階からの社会実験(**地域の熱意の高さ、実現可能性の担保**)
- ・ 継続的な利活用につながる**キーパーソンの発掘、取込み**
- ・ 国の整備は、「治水及び河川利用の安全・安心に係る河川管理施設」に限定
- ・ **整備後の利活用が担保されているか**
- ・ **整備及び維持管理の役割分担**
(整備箇所は自治体が占用し、維持管理を行うことが原則)
- ・ **排他的営利活動**
⇒都市・地域再生等利用区域の指定 等

かわまちづくりの事例(令和4年度登録案件)

河川管理用通路(サイクリングコース)整備【中島地区】

※イメージ

拠点整備(やぶさめ公園付近)【高津地区】

マルシェ・各種イベント(ミズベリング等)
 やぶさめ公園
 カヌー、カヤック、ピクニック、BBQ
 散歩、散策、ランニング、マラソン大会、サイクリングイベント

拠点整備(豊田公民館付近)【横田地区】

散歩、散策、ランニング、マラソン大会、サイクリングイベント
 豊田公民館
 カヌー、カヤック、水辺キャンプ、水遊び、環境学習
 サイクリストの休憩スポット、イベント時の観覧席

※今後、工事実施のための詳細な設計等を実施することにより、実施内容を変更する場合があります。

かわまちづくりの事例(過去の登録案件)

名取川(宮城県名取市)



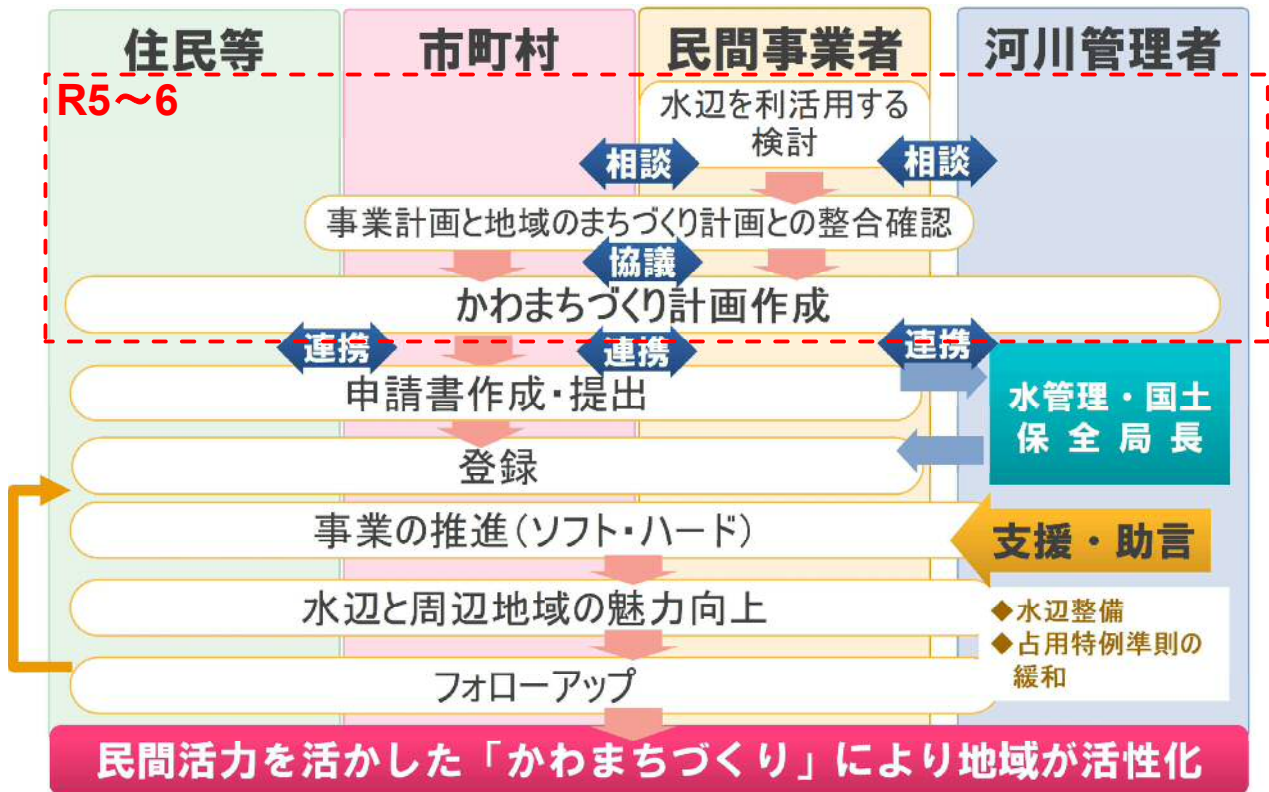
関上地区かわまちづくり

道頓堀川(大阪府大阪市)



大阪市かわまちづくり

かわまちづくりの流れ



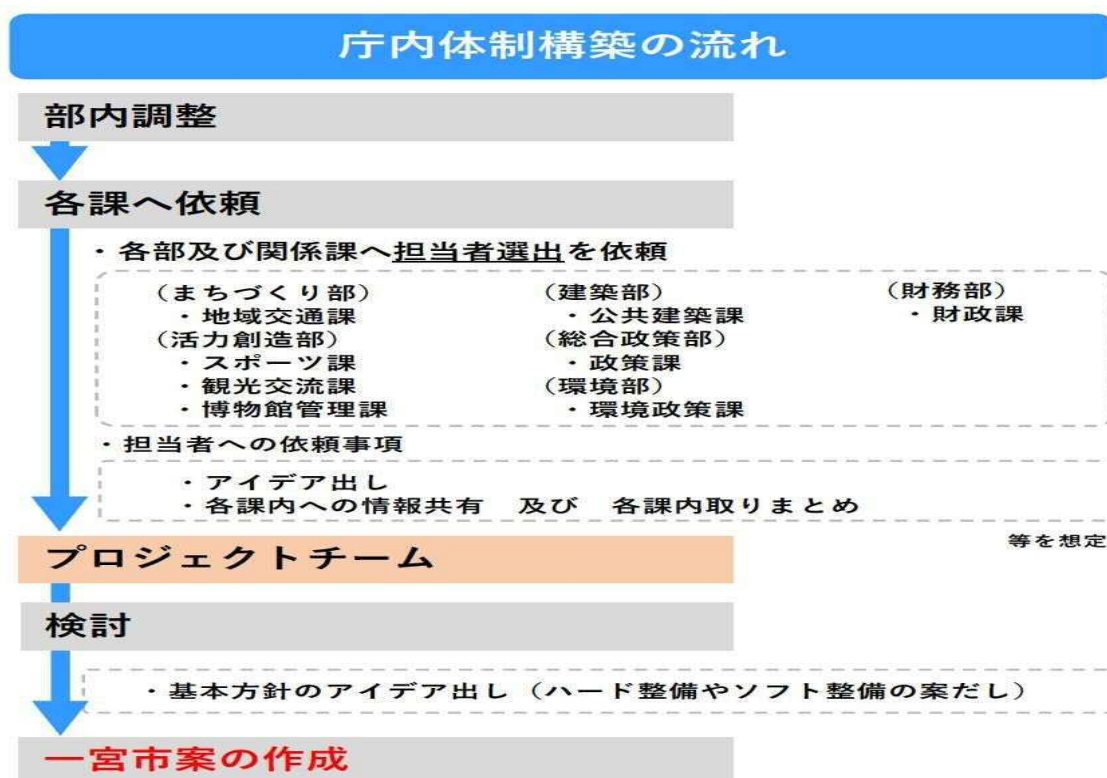
かわまちづくり計画の登録に向けて



○かわまちづくり計画の登録に向けて、計画を検討する協議会を設立

○計画を進める際には、様々な観点からの意見やアイデアが必要となり、推進主体である「一宮市」内部のつながりが重要であり、庁内にプロジェクトチームを構築

かわまちづくり計画の登録に向けて



2. 一宮西部地区かわまちづくりの背景と目的

背景

- ・ 市の西部に位置する富田山公園は、かつて、宿泊施設(H28解体)と屋外プール(R5事業廃止)があり、地域のレクリエーション拠点として、活気がある公園であった。
- ・ しかしながら、老朽化による施設の廃止に伴い、公園利用者が減少し、かつてのにぎわいを取り戻すため、官民連携による富田山公園の再整備の取組みについて、令和2年6月に改訂した緑の基本計画に位置づけた。
- ・ また、木曾川沿いの水辺空間を活かした観光エリアを創出し、公園の魅力向上、利用者増を図り、地域を活性化させることが必要となっている。

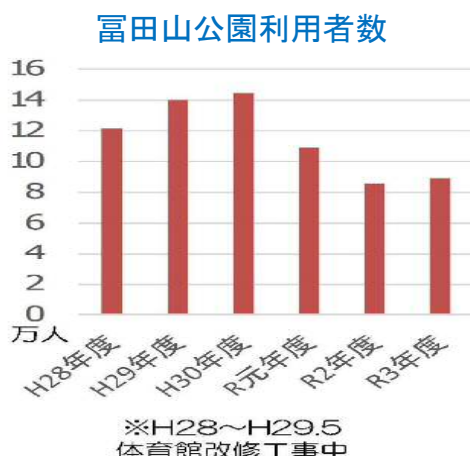
目的

- ・ 木曾川沿川に存する富田山公園を中心に、河川空間を活かした「賑わい創出」「魅力の向上」「交流人口増加」による地域の活性化を目指し、**民間活力の導入を図る。**
- ・ 一方で、民間活力を促進するため、国の「**かわまちづくり支援制度**」によるサイクリングロード・水辺空間の活用(屋外プールの廃止に伴う『新しい形の水辺との触れあい』)、環境学習の推進に資する健康づくり拠点を含む、**地域のレクリエーションの拠点としての機能強化を図る。**

かわまちづくりの水辺拠点位置

(1)社会的背景・状況の変化等(きっかけ)

- ・ 令和2年6月 一宮市都市計画マスタープラン策定
緑の基本計画改定
- ・ 令和4年3月 設置管理許可により、エリアの一部に
グランピング施設等を開設
- ・ 令和5年3月 プール事業を廃止
- ・ 令和6年3月 スケートパーク完成予定

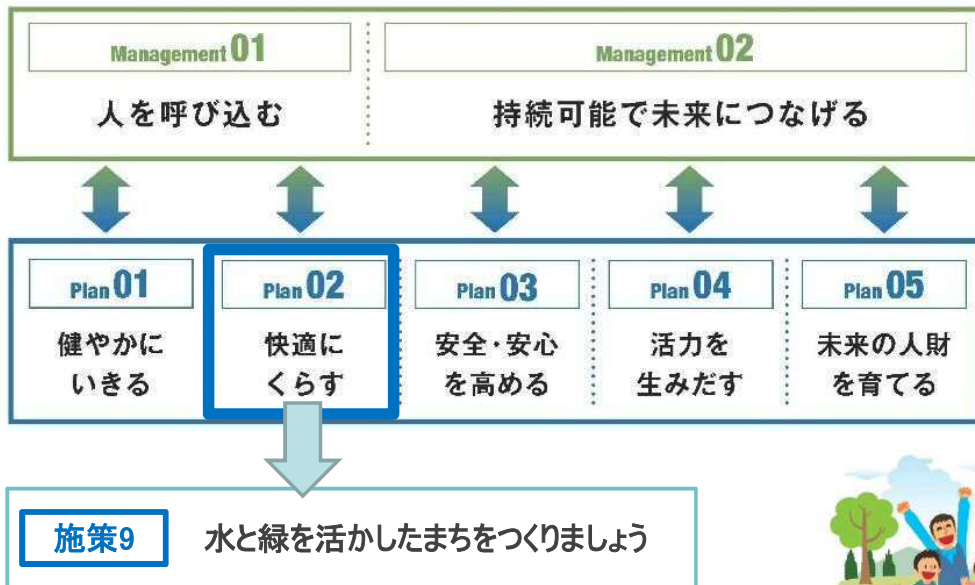


かわまちづくり支援制度の活用



第7次 一宮市総合計画(令和5年3月改訂)

《都市将来像》 木曾の清流に映え、心ふれあう躍動都市 一宮



【具体的な取組】 ● 水と緑のオープンスペースの整備推進と利活用

…公園・緑地整備事業、木曾川河川敷公園整備事業、ミズベリング138事業

一宮市緑の基本計画(令和2年6月改訂)

- 基本理念を「水と緑で人がつながる心ふれあうまち 一宮」とし、理念実現に向け、3つの基本方針を掲げ、施策方針01には水と緑のネットワーク形成を掲げている。
- 富田山公園の具体的事業例としては、SUPやカヌーなどの体験イベントの開催、Park-PFIによる富田山公園の再整備を挙げている。また関連事例として、国の天然記念物であるイタセンバラの保護、サイクリングロードの整備活用の継続を挙げている。
- 緑の将来像において、富田山公園は、中核となる緑の拠点(都市公園等)に位置づけている。また、木曾川を軸とした広域交流軸(木曾川沿川のサイクリングロード)上に位置づけている。

●基本理念及び基本方針

・基本理念の実現に向け、3つの基本方針とそれに基づく施策方針(個別施策)を定めている。

基本理念	基本方針	施策方針
水と緑で人がつながる心ふれあうまち 一宮	<p>【基本方針①】 “いのちを紡ぐ” 緑のまちづくり</p>	<p>【施策方針01】水と緑のネットワーク形成と生物多様性の確保 個別施策 01-1: 木曾川を軸とした水と緑のネットワーク形成 個別施策 01-3: 木曾川を中心とした水辺空間の活用及び環境学習の推進 個別施策 01-4: 生物多様性の確保に向けた環境学習及び啓発活動の推進</p> <p>【施策方針02】防災・減災に資するグリーンインフラの充実</p>
	<p>【基本方針②】 “暮らしを織りなす” 緑のまちづくり</p>	<p>【施策方針03】暮らしを豊かにする緑の拠点の創出 個別施策 03-1: Park-PFIによる多様なニーズに合った都市公園の整備(富田山公園) 個別施策 03-4: サイクリングロードなどの木曾川沿川の「緑づくり」拠点の整備・活用</p> <p>【施策方針04】地域の特色を活かした水と緑の貯存ストックの保全と活用</p>
	<p>【基本方針③】 “ともに育てる” 緑のまちづくり</p>	<p>【施策方針05】コンパクトなまちづくりと連携した次世代へ継承する緑のまちづくり</p> <p>【施策方針06】多様な主体との連携・協働の拡大 個別施策 06-1: 市民協働・民間団体の活用による公園施設の維持管理の推進</p>

図 2-34 基本理念及び基本方針

一宮市緑の基本計画(令和2年6月改訂)

■緑の将来像



凡例

	木曽川の水辺空間軸		緑と農の田園環境エリア
	主要な水と緑のネットワーク軸 (日光川、野苅川、青木川)		中核となる緑の拠点(都市公園等)
	水のネットワーク軸(河川や水路)		歴史と文化のある緑の拠点
	緑のネットワーク軸 (街路樹のある道路や緑道)		高規格幹線道路軸
	歴史と文化が織りなす緑の回廊		公共交通軸(JR・私鉄)
	木曽川を軸とした広域交流軸 (木曽川沿川のサイクリングロード)		

	都市居住ゾーン		田園環境共生ゾーン		工業集積ゾーン
	都市拠点		副次的都市拠点		地域生活拠点

※ゾーン区分は一宮市都市計画マスタープランにおける位置づけを引用

一宮市緑の基本計画(令和2年6月改訂)【抜粋】

●個別施策 01-3: 木曽川を中心とした水辺空間の活用及び環境学習の推進

01-3 木曽川を中心とした水辺空間の活用及び環境学習の推進 【新規】

都市緑地法との対応	都市公園等の整備	都市公園等の管理	緑地の保全	緑化の推進
-----------	----------	----------	-------	-------

●木曽川沿川には、一宮市の代表的な観光・交流拠点である大野極楽寺公園や光明寺公園、138タワーパークをはじめ、河川環境楽園(岐阜県各務原市)、フラワーパーク江南(愛知県江南市)などがあることから、沿川自治体との連携を図りながら、木曽川周辺の水辺空間を有効的に活用するとともに、木曽川の歴史と文化を通じた環境学習を推進することで、市内外の人々の交流の促進に努めます。



木曽川の水辺空間を活用したSUP体験

具体的事業例	市民	民間事業者等	行政
木曽川の水辺空間を活用した水と緑と親しむ体験交流プログラムの推進	○	○	○

事業該当エリア
 ○業栗・北方町・木曽川町地域
 ○尾西北部・南部地域

○大野極楽寺公園や富田山公園などの木曽川沿川の大规模公園緑地を中心に、おだやかな水面を活用したSUP(スタンドアップパドルボード)やカヌーなどの体験イベントを、国や愛知県、沿川自治体、市民や民間事業者等の多様な主体との連携により開催することで、木曽川沿川に関わる多様な人々の交流を促進し、水辺を中心としたにぎわい空間の創出に取組みます。

一宮市緑の基本計画(令和2年6月改訂)【抜粋】

●個別施策 03-1: Park-PFIによる多様なニーズに合った都市公園の整備(富田山公園)

〈基本方針②:“暮らしを織りなす”緑のまちづくり〉に基づく施策

【施策方針03】暮らしを豊かにする緑の拠点の創出

03-1 Park-PFIによる多様なニーズに合った都市公園の再整備 【新規】

都市緑地法との対応	都市公園等の整備	都市公園等の管理	緑地の保全	緑化の推進
-----------	----------	----------	-------	-------

●都市緑地法や都市公園法などの改正により、民間事業者等との連携・協働による都市公園の再整備・維持管理(Park-PFI)が可能となったことから、日々変化する社会情勢と多様化するニーズへ対応し、暮らしを豊かにする緑の拠点の創出に向けて、Park-PFIの活用による都市公園の再整備に取り組めます。また、Park-PFIの導入に向けて、民間事業者等との対話や既存公園の活用手法を検討します。



富田山公園

具体的事業例	市民	民間事業者等	行政
Park-PFIによる富田山公園の再整備	—	○	○
事業該当エリア	○尾西南部地域		

○尾西地域にある富田山公園は、市南西部の中核となる緑の拠点です。そのため、公園利用者へのサービスの向上を図り満足度を高めるとともに、維持管理に係る財政負担の軽減を図るため、民間事業者等と行政が連携・協働するPark-PFIによる都市公園の再整備に取り組めます。

一宮市緑の基本計画(令和2年6月改訂)【抜粋】

●個別施策 02-1: 地域の防災機能を高める身近な公園緑地の充実

02-1 地域の防災機能を高める身近な公園緑地の充実 【継続】

都市緑地法との対応	都市公園等の整備	都市公園等の管理	緑地の保全	緑化の推進
-----------	----------	----------	-------	-------

●既存の都市公園や緑地において、災害時でも対応可能な防災拠点とするため、防災対応施設の設置・更新を推進し、平常時にはキャンプ利用、地震や水害などの災害時には被災者の一時避難場所や災害対応活動拠点として利用できるよう、公園緑地の防災機能の向上を図ります。また、更新した防災対応施設を効果的かつ円滑に活用できるよう、利用方法などの勉強会や防災体験イベントなどの取組みを推進します。



キャンプ利用のできる防災公園のイメージ
(出典:千葉県市川市HP)

具体的事業例	市民	民間事業者等	行政
既存の都市公園における防災対応施設の設置・更新	—	—	○
事業該当エリア	○市全域		

○大野極楽寺公園や光明寺公園などの地域の拠点となる都市公園については、防災トイレの設置や防災備蓄倉庫の設置を促進するなど、防災対応施設の設置・更新に取り組むことで、平常時ににぎわい空間だけではなく、災害時には防災空間として活用します。

一宮市緑の基本計画(令和2年6月改訂)【抜粋】

●個別施策 03-7: サイクリングロードなどの木曽川沿川の「健康づくり」拠点の整備・活用

03-7 サイクリングロードなどの木曽川沿川の「健康づくり」拠点の整備・活用 【継続】

都市緑地法との対応 都市公園等の整備 都市公園等の管理 緑地の保全 緑化の推進

●現在、木曽川沿川の自治体が連携して整備を進めているサイクリングロードや遊歩道においては、水と緑のネットワークの強化を図るため、継続的に整備を推進します。また、質の高いスポーツ体験や市民の健康増進を目的とする「健康づくり」拠点の整備・活用に取り組めます。



木曽川沿川のサイクリングロード

具体的事業例	市民	民間事業者等	行政
木曽川沿川のサイクリングロード及び遊歩道の継続的な整備及び活用推進	—	○	○

事業該当エリア ○葉栗・北方町・木曽川町地域
○尾西北部・南部地域

○木曽川沿川のサイクリングロード及び遊歩道は、安全・安心に木曽川沿川を回遊できるルートとして継続的に整備を推進するとともに、国や愛知県、沿川自治体との連携による木曽川を巡るイベントを開催するなど、積極的な活用を推進します。

H30年度当時の富田山公園再整備構想(案)



- ・ H30年度に富田山公園再整備構想(案)を作成し、それを踏まえ賑わいサイトにグランピング施設を開設。現在、都市型スポーツサイトにスケートパークを整備
- ・ その後、プール事業廃止や西中野渡船場の継承等も踏まえ、再整備構想を見直し中

市西部でのミズベリングほか市民活動



出典：国土地理院地図に加筆

4. かわまちづくりの関連計画（緑の基本計画以外）

一宮市都市計画マスタープラン R2.6(改定)

■将来都市像

都会の利便性と田舎の豊かさが織りなす、だれもが住みよいまち
～多拠点ネットワーク型都市の構築～

■都市づくりの目標

【都市の課題】

- ①人口の集約による地域コミュニティの維持
- ②人口減少下における生活サービス施設の維持
- ③中心市街地の活性化
- ④産業構造の変化への対応
- ⑤災害などに対する安全・安心の確保
- ⑥豊かな自然や農地、公園・緑地の保全・活用
- ⑦環境負荷の少ない都市構造の形成
- ⑧地域の歴史と文化の保全・活用
- ⑨多様なまちづくり活動の担い手育成

【都市づくりの目標】

- 目標1「持続可能で安全・安心な都市構造の構築」
- 目標2「都市機能の集積による拠点の強化」
- 目標3「誰もが豊かに暮らし続けることができる生活環境の確保」
- 目標4「愛着と誇りの持てる地域文化の形成と継承」

■将来都市構造

【拠点】

都市拠点	一宮市駅周辺
副次的都市拠点	尾西庁舎周辺 木曽川駅周辺
地域生活拠点	出張所または公民館周辺
産業拠点	既存工業団地や高速道路インターチェンジなどの既存ストックを活用できる場所
レジャー拠点	大規模公園緑地など
歴史文化拠点	真清田神社などの本市の歴史性を象徴する地区

【ネットワーク】

道路ネットワーク	産業振興や周辺都市、市内拠点間の交流促進に資する道路網を形成
公共交通ネットワーク	公共交通による拠点間の連携強化を推進
水と緑のネットワーク	木曽川、公園・緑地、社寺林などを結ぶ良好な自然環境を有するネットワークの形成
都市と歴史のネットワーク	岐阜街道、美濃路を位置づけ、歴史的な面影が残されたネットワークの形成

【ゾーン】

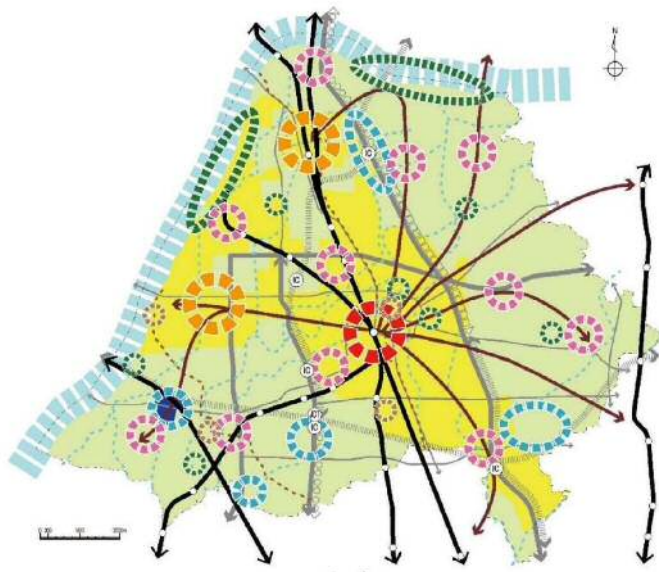
都市居住ゾーン	市街化区域のうち工業専用地域を除いた区域とし、利便性が高く良好な居住環境を形成
田園環境共生ゾーン	市街化調整区域とし、自然や農地の維持・保全や地域コミュニティを維持・増進
工業集積ゾーン	工業専用地域とし、生産力拡大に向けた良好な操業環境の形成

○木曽川、公園・緑地、社寺林
などを結ぶ良好な自然環境を
有するネットワークの形成を
目標に掲げている。

○木曽川沿川の西部地区は、
レクリエーション、歴史拠点
として整備する方針である。

一宮市都市計画マスタープラン R2.6(改定)

■将来都市構造図



凡例

<ゾーン>	<拠点>	<ネットワーク>
都市居住ゾーン	都市拠点	広域幹線道路
田園環境共生ゾーン	二次的都市拠点	主要幹線道路
工業集積ゾーン	地域生活拠点	幹線道路
	産業拠点	鉄道
	ゆにふり(現況維持)	主要バス
	歴史文化拠点	水と緑のネットワーク
		都市と歴史のネットワーク

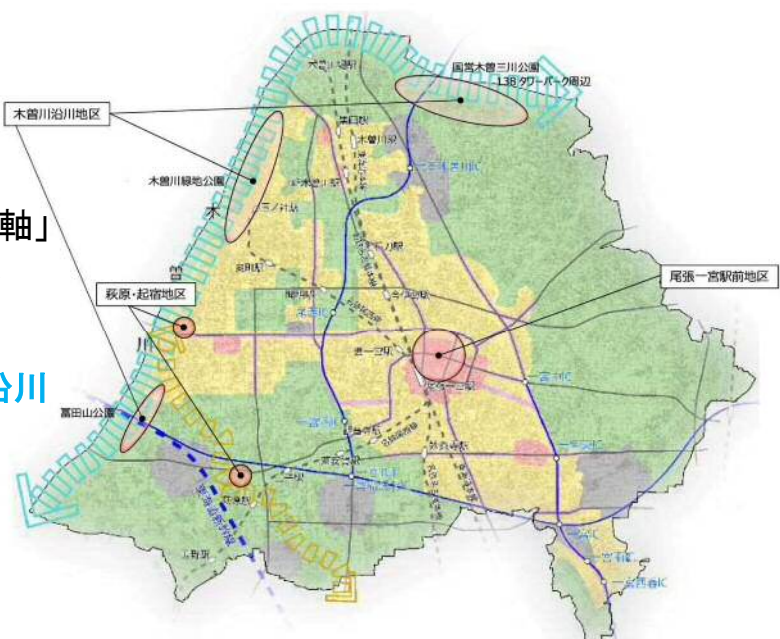
一宮市景観計画 R3.4(策定)

【富田山公園】

○市のランドマーク「生活景観（公園・緑地・広場）」に区分

○景観特性を踏まえ「河川景観軸」及び「田園景観ゾーン」に区分

○景観重点候補地区(木曾川沿川地区)の一つに位置づけ



【景観重点候補地区】

一宮市自転車活用推進計画 R1.12(策定)

○木曾川沿川サイクリングロードとして、その拠点である『138タワーパーク』や『富田山公園』までの路線をレジャー、観光の観点から選定し、整備予定である。

○『富田山公園』は『138タワーパーク』とともに自転車専用通行帯の終着点に選定されている。

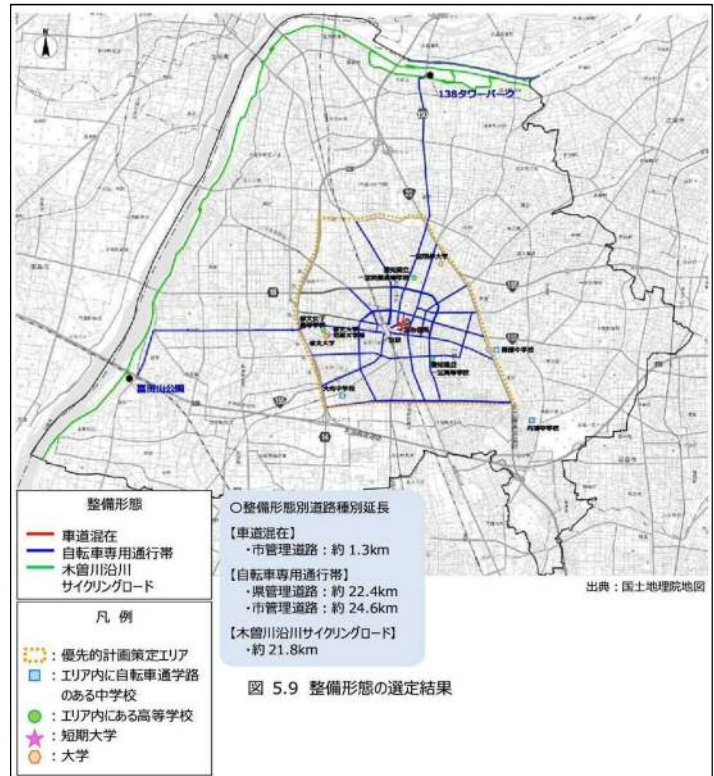
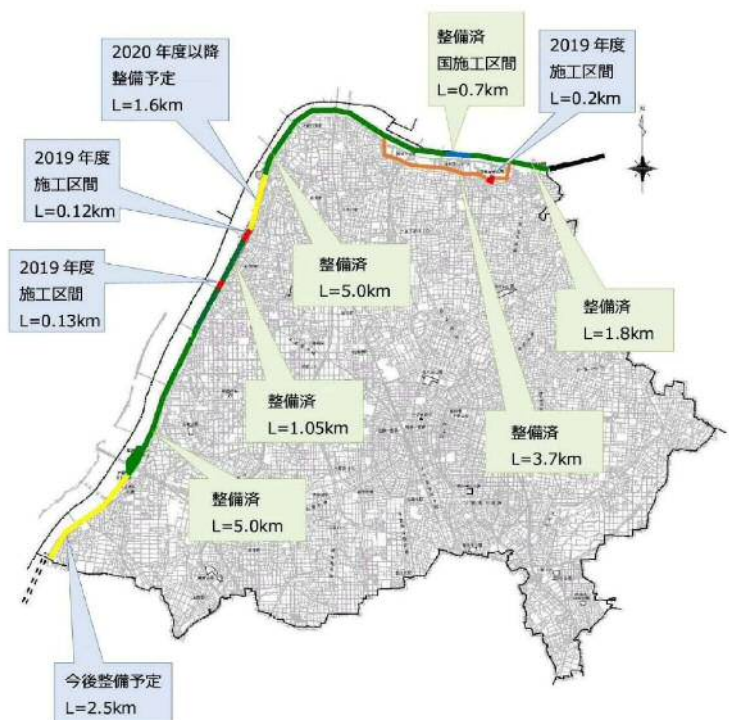
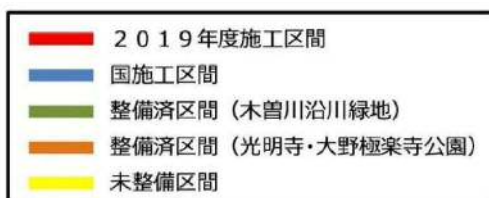


図 5.9 整備形態の選定結果

一宮市自転車活用推進計画 R1.12(策定)

■木曾川沿川サイクリングロードの整備状況



「木曾ポタロード」の取組

- 木曾川沿川では、木曾三川の広大な空間を活かし、健康作りを支援するレクリエーション施設等として、国を含めて木曾川沿川関係機関が連携して、自転車道、遊歩道の整備を進めている。
- ウェブサイトで、おすすめのルートコースやサイクリング、ウォーキング等に関するイベント情報を発信している。

【ネーミング】

木曾ポタロード

「ポタ」とは、サイクリングで使われている「ポタリング」の略称です。「ポタリング」は、自転車でゆったりと走ることを意味し、一人でも、グループでも、自由に自転車を楽しむイメージで使われています。木曾川沿川の自転車道でも河川敷や沿川市町での「ポタリング」利用を推進し、木曾川を自転車で気軽に旅してもらいたいとの考えから名付けました。なお、愛称で「木曾ポタ」と呼んでいます。

【キャッチコピー】

木曾川と自転車で旅する

木曾川とともに、木曾川を取り巻く自然の風景、沿川のまち並みや名所を自転車という乗り物を使って楽しむことを表現しています。



5. 木曾川沿川の利活用方針（案）

木曾川沿川の利活用方針(案) ゾーニング計画

- ・ 上位計画を踏まえ、木曾川沿川の利活用方針に関してゾーンと拠点を設定



出典：国土地理院地図に加筆

各ゾーンの利活用方針(案)

- ・ 木曽川は、ひとを集め盛り上げる魅力がある。
市の北部地区中心に整備が行われ、人々を集めている。
- ・ 木曽川を、ゾーンごとに方針を設定し、利用を一層推進する。
- ・ 市の西部地区においては、特に、整備と利活用を促進し、賑わいの創出、魅力の向上、交流人口の増加による地域の活性化を目指す。

各ゾーンの利活用方針(案)

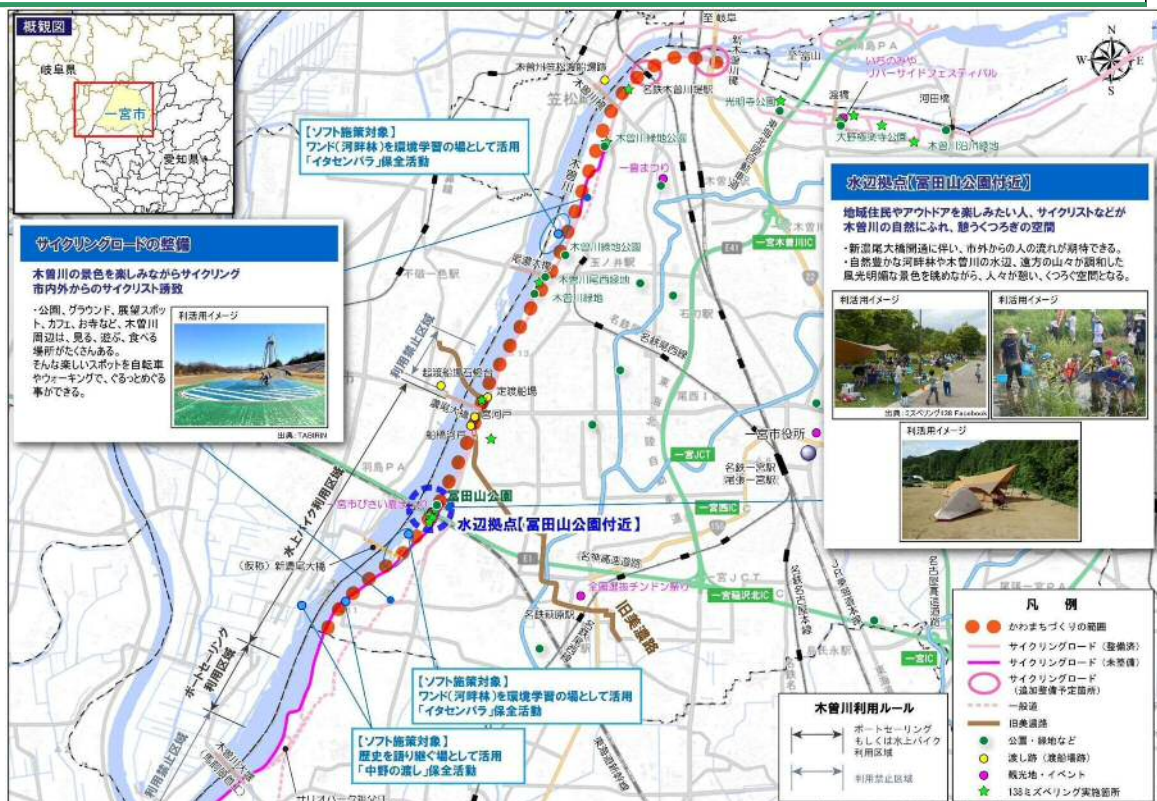
ゾーン名	現状と課題	今後の利用方針
138タワーパークゾーン (一宮北部かわまちづくり地区)	国の公園と一体としてかわまち整備が過去行われた。現在、一宮市で最も観光客を集め、市の交流の拠点となっている。	国と連携しながら一宮市交流の拠点として今後も活用する。
木曽川リフレッシュゾーン	公園の整備が進んでいる。水面利用も自由である。一方自転車道の整備が途中であり、利用の妨げになっている。	サイクリングや散策できる施設整備を進め川辺の景観を誰もが楽しめるようにする。 水面の利活用を促進する。 木曽川堤駅周辺は対岸の笠松みなと公園等とも連携し、周遊する魅力を高める。

各ゾーンの利活用方針(案)

ゾーン名	現状と課題	今後の利活用方針
美濃路ゾーン	貴重な歴史である美濃路の舟運の跡地があるが、舟運そのものはなく、歴史が十分には活用されていない。	美濃路、船着場などの歴史探訪の利活用を促進する。
かわまち交流ゾーン	<p>宿泊施設やプールなどの公園施設が廃止、利用者も年々減少している。</p> <p>下流にある木曽川最後の中野の渡しも廃止予定で、自転車道も未整備である。</p> <p>一方、拠点となる富田山公園は、ミズベリング等市民活動も多く行われており、活用増の可能性はある。</p>	歴史と自然を生かした新たなかわづくりまちづくりの拠点として整備する。

6. かわまちづくりの対象範囲

①かわまちづくりの対象範囲：【上流】新木曽川橋～【下流】稲沢市境まで



出典：国土地理院地図に加筆

②かわまちづくりの水辺の拠点(ハード整備): 富田山公園周辺

- ・富田山公園再整備のゾーニング案を踏まえ、富田山公園周辺を水辺の拠点としてハード整備の対象地とする。
- ・イタセンパラの生息地を環境学習の場として活用することが可能であれば、下流の範囲も対象エリアとする。



富田山公園ゾーニング(変更案)

富田山公園再整備手法検討業務 (H30.一宮市) に加筆

②かわまちづくりの水辺の拠点(ハード整備): 富田山公園周辺

- ・イタセンパラの生息地を環境学習の場として活用することが可能であれば、下流の範囲も対象エリアとする。



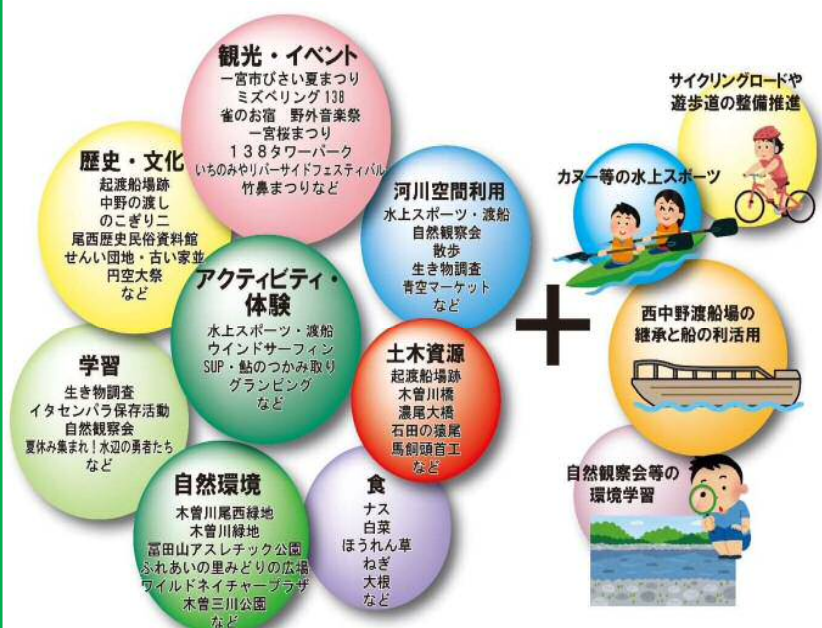
【対象エリア】

かわまちづくりのコンセプト(案)

- ・ 一宮市は、木曾川とともに発展してきた地域であり、愛知県内の木曾川沿川自治体の中では、最も長い18km接し、木曾川がもたらしてくれる多くの恵みを受受してきた。
- ・ 富田山公園は、木曾川沿川の市内で最も下流に位置しており、「富田山から見た木曾川」は、木曾三川36景の1つに選ばれている。
- ・ また、水や緑に親しめるスポットであり、河川へのアクセスが比較的容易であることが最大の魅力である。

かわまちづくりのコンセプト(案)

- ・ 木曾川の河川敷では、サイクリングロードや遊歩道の整備を引き続き推進する。
- ・ 新たに「西中野渡船場の継承と船の利活用」やカヌー・SUPなど水上スポーツが可能な護岸整備を行う。
- ・ 更には環境学習の場としての整備など貴重な水辺を有効活用することが望まれる。
- ・ 地域の防災力向上の視点から災害時にはサイクリングロードを緊急輸送路として利用することも視野に入れる。



かわまちづくりの利活用イメージ(検討中)

■ 船の利活用

- 春「お花見、雄大な自然を楽しむ」
- 夏「花火大会時の活用」
- 秋「小学校等の総合的な学習の時間での活用」
- 冬「冬の景色や野鳥観察を楽しむ」
- 通年「舟運の歴史探訪」

- 整備対象地区は、明治からの水天宮の川祭りが発祥とされており、伝統ある祭りの歴史を継承するため、「一宮市びさい夏まつり」が開催されている。
盆踊りや手筒花火など夏まつりらしいイベントで会場を彩り、屋形船からの観覧も想定される。
- 船からの景色として、桜・紅葉の植樹などが挙げられる。



出典：一宮市提供写真 愛西市の観光船



一宮市びさい夏まつり

出典：一宮市観光協会HP

かわまちづくりの利活用イメージ

■ 民間事業者が行う体験イベント等

1.カヌー・カヤック



カヌー・カヤック体験

2.SUP(スタンドアップパドルボード)



マリンアクティビティSUP体験

出典：富田山公園再整備手法検討業務（H30.一宮市）

かわまちづくりの利活用イメージ(検討中)

■ デイキャンプ場・焚き火広場

- ・ コロナ禍以降、特に密を避け、自然の中に癒しを求める傾向が高く、キャンプや釣りなどのアウトドアを行う人々が増えている。富田山公園でも、2022年3月に「ウッドデザインパーク～紡～」(グランピング施設)がオープンし、手ぶらで楽しめるBBQ施設にカフェが併設され賑わいを見せている。
- ・ 更に気軽にキャンプを楽しみたいという需要に応じて、デイキャンプ場(自らテントの設営を行い、BBQの準備から片付けまでを楽しむキャンプ場)の開設が挙げられる。
- ・ また、デイキャンプの他、イベント等におけるキッチンカー等の飲食店の出店や自転車のレンタルによる賑わいの創出も考えられる。



▲ デイキャンプ場



▲ キャンプで棒パン



▲ ダッチオーブンでパン



▲ キャンプでアユの塩焼き

かわまちづくりの利活用イメージ(検討中)

■ 環境学習の場としての整備

- ・ 富田山公園周辺のワンドでもイタセンパラが生息している可能性が高いため、保全と保護、水生生物教室などの環境学習の場としての活用が望ましい。
- ・ 今後、ビオトープとして観察可能な歩道や柵の整備が考えられる。
また、ワンドの保全・清掃活動を積極的に行うとともに、子どもたちに対して生き物などについての環境学習を実施できれば、今後の、イタセンパラの保護活動としても有効的である。
(密漁などの乱獲の懸念に配慮が必要)



【同様の事例】



カブトガニ(絶滅危惧1類)が生息する今津干潟(福岡市)での環境学習の例

防災としての役割

- 富田山公園は広域避難場所に指定されている。
- 緊急輸送路の指定は、各拠点施設等との十分な連携を考慮し、災害活動の円滑化を図ることとしている。
- 河川周辺は緊急河川敷道路として、救援物資や資機材等を運搬する役割があり、木曾川沿川でも同じ役割を期待したい。

第1次緊急輸送道路	国の基幹道路である高速自動車国道、一般国道及び県道を中心に、人口集中地域への重要な基幹輸送道路
第2次緊急輸送道路	各拠点施設等への導入幹線輸送道路
第3次緊急輸送道路	その他の幹線道路
(参考)緊急用河川敷道路	庄内川周辺の他の緊急輸送道路と連結し、緊急輸送機能を有する道路
くしの歯ルート	津波等により甚大な被害を受けた地域での救援・救護活動を支援するための「道路啓開」を最優先に行う道路(第1次及び第2次緊急輸送道路から選定する)



緊急輸送道路・くしの歯ルート・主要橋りょう図

富田山公園の全体コンセプト(案)

- ・富田山公園全体のコンセプトと各拠点の役割に関する考え方を示す。

■富田山公園全体のコンセプト(案)
 ・スポーツ・アウトドアによる健康増進と木曾川の雄大な眺めにより、心身ともにリフレッシュできる公園
 ※生涯スポーツの観点から堤防、河川敷、公園内をウォーキング ⇒健康増進へ

■富田山公園全体の位置づけ
 ・南西部の中核となる緑の拠点
 ・広大な水面に触れあえる市内唯一の拠点

※平常時は、船を西中野渡船場に停泊(レガシーとして現況の場所に船着場機能を残す)

みなも 北の拠点
 (水面と親しむレクリエーション拠点)

■かわまち関連
 木曾川と共に暮らしてきた水辺文化を継承 新たに賑わいを生み出すかわまちづくり

■公園関連(将来像、再整備コンセプト)
 豊かな自然環境の中で多様な活動の場をはぐむ木曾川と地域をつなぐ公園

※北の拠点と連携して船を活用



南の拠点
 (アスレチック拠点)

木曾川に広がるのびやか遊びの広場
 ~ゆるやかにつながる開放的な広場で
 のびやかに安心して遊べるエリア~

※1 富田山公園の南側入口としての顔
 ※2 北の拠点を紹介→誘客へ

西中野渡船場

一宮市のまちづくりの課題とかわまちづくりのコンセプト素案 ～庁内WS～

- 23/12/1 かわまちづくりのコンセプト立案のため、関係部局が集まり、庁内WSを開催
- 地域交流活性化のための木曾川沿川の活用についてWS形式で意見を出し合った。
- 「河川敷利用の意欲にこたえられていない」、「若者があつまるところがない」といった課題の一方、美しい木曾川の景観を生かしたアイデアがだされ、実現に向けた方策を話し合った。



市のまちづくりの課題とかわまちづくりのコンセプト素案 ～庁内WS～

まちづくりの課題	かわまちでの活動等案	イメージ(例)
<ul style="list-style-type: none"> ・ティーン以上が集まり、利用できる場所が少ない ・10代以上がまちから離れていく 	カフェ・バー	<ul style="list-style-type: none"> ・おしゃれなオープンカフェで、友だちと会話を楽しむ
<ul style="list-style-type: none"> ・木曾川の素晴らしい景観を見ることができる場所が少ない 	サイクリング 散歩	<ul style="list-style-type: none"> ・友達や家族とサイクリングを楽しむ ・GPSでスタンプラリーをしながら夫婦で川沿いをゆっくり歩く
<ul style="list-style-type: none"> ・河川敷を活用したイベントの相談があるが、応えきれていない 	オープンスペース	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽フェス、花火大会など各種イベントが開催できるオープンステージ
<ul style="list-style-type: none"> ・かつては川遊びするビーチがあり、地域で楽しんでいたが、無くなった ・市内に川遊びができる場所がない 	川遊び ふなあそび	<ul style="list-style-type: none"> ・家族で、安全な空間で川遊びを楽しむ ・屋形船で、近くを遊覧する、釣りをする

その他意見等

- ・テント設営体験、SUP体験
- ・バーベキュー場、サウナ・足湯、眺望可能な施設の整備
- ・イタセンパラの勉強会の実施
- ・駐車場の配置は必須、グラウンドの活用を継続
- ・1年に1回程度冠水する対策が必要

水辺拠点 富田山公園周辺のWSアイディアに事務局アイデアを追記



8. 今後の予定

<R7かわまち登録><R9年度整備開始>

年月	協議会等	内容
24年5月～6月	第2回かわまちづくり協議会	かわまちづくり【基本方針(素案)】の利活用、整備計画についての意見交換
24年7月～8月	第3回かわまちづくり協議会	かわまちづくり基本方針(素案)についての意見交換
24年7月～ 25年3月	社会実験及びその評価・検証	
24年10月	第4回かわまちづくり協議会(予定)	社会実験中間の報告 かわまちづくり計画(素案)についての意見交換
24年12月	第5回かわまちづくり協議会(予定)	かわまちづくり計画(案)についての意見交換
25年3月	第6回かわまちづくり協議会(予定)	社会実験結果報告 総括
25年6月		かわまちづくり申請・登録

※木曾川沿河市町と共同したかわまちづくりについては、今後、協議し一体的に進めていく予定